

北杜市は、TRY!YAMANASHI! 第2期実証サポート事業の採択プロジェクトである「ドローン物流プラットフォームフォーム空のインフラ構築プロジェクト in 北杜市」を株式会社 A.L.I. Technologies（本社：東京都港区、代表取締役：片野大輔、以下「A.L.I.」）と共同で行います。本プロジェクトは、ドローンサービスが実装された社会を念頭に置き、北杜市の上空に空の道（空のインフラ網）を整備することを目的としております。

この度、プロジェクトの一環として、ドローン物流の社会実装・空のインフラ網構築に向けた実証実験を実施することになりました。

今回の実証実験は、災害時の状況を仮定し、ドローンによる物流プラットフォームの有用性を確かめます。また、A.L.I.の運航管理システム「C.O.S.M.O.S.（コスモス）」を用いて複数台のドローンを同時管理する機能の実証も併せて行います。

本実験は、8/24（水）に公開で行う予定となっており、見学も可能です。詳細については、決まり次第この HP にてご案内いたします。

<実証実験の概要>

■想定

東海地震で山梨県全域に広域災害が発生。北杜市内でも国道 141 号線や県道 23 号線が通行止めとなり、清里・増富地区において住民や観光客が孤立してしまったと仮定し、トラック輸送に代わって、孤立地域の避難所等へドローンによる救援物資運搬を行います。

■内容

運航管理システム「C.O.S.M.O.S.」上で飛行管理・遠隔操縦を行い、複数の孤立地域の避難所等へ複数のドローンを同時飛行させ、救援物資を運搬します。

■日時

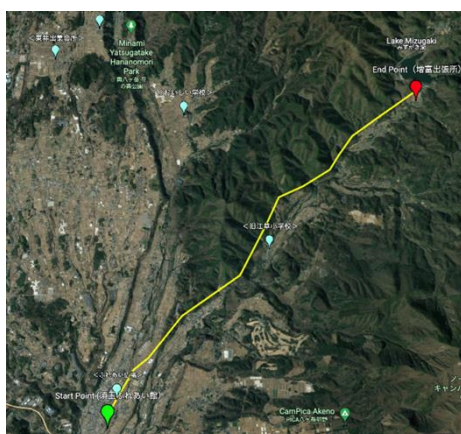
8/22-26（期間中の2日）

8/23 にテスト飛行、8/24 午後に実証本番を予定

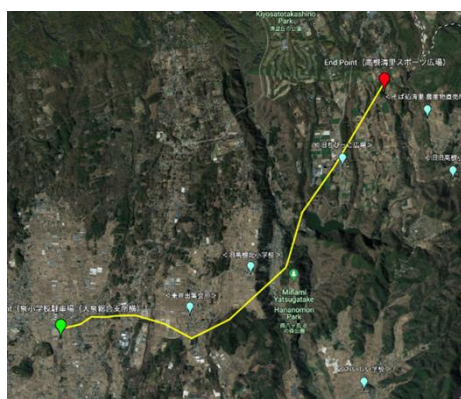
雨天時や強風時は、ドローンが飛行できないため、飛行日時が変更になる場合があります

■ルート

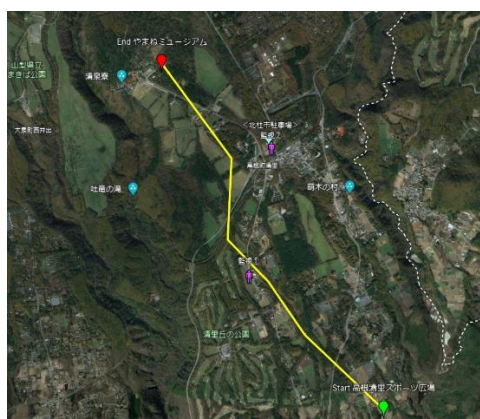
ルート A 須玉ふれあい館 → 増富出張所 間 10km



ルート B 大泉総合支所 → 高根清里スポーツ広場 間 8km



ルート C 高根清里スポーツ広場 → 県立自然文化ふれあいセンター 間 5km



■使用するドローン

AeroGLab 社製 AeroRange Quad



DWS 社製 EAGLE-15



■運搬物資

救急セットや備蓄食料を予定

■お願い

飛行ルートは、極力民家などを避け、農地や山林上を飛行するよう設計しております。ドローン飛行見学される方は、飛行ルート下に立ち入らないよう、また道路交通の妨げになるような行為はお控えいただきますようお願い申し上げます。

なお、見学したい方に向けて、須玉ふれあい館を観覧場所として用意しております。

実験の見学について

■実施日時

8月24日（水） 13:00～15:00 頃

ドローンは、天候や風速などの状況を鑑みて離陸いたします。予定時間から前後することがあります事を予めご承知おきください。

■場所

須玉ふれあい館（安全確保のため、見学者が離陸場所に近づきすぎると、ドローンが離陸できなくなります。係員の誘導に従い、決められた観覧場所からご見学いただくようお願いいたします。）

■内容

・ドローンの離陸・飛行の様子、C.O.S.M.O.S.管制によるドローンの運航管理の様子、エンジニアやオペレーターによる準備作業の様子などをご覧ください。

市民の皆様へのご案内：

各種法令に基づいた安全体制・機体管理を徹底しております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

上空通過時、機体のエンジン音やプロペラから生じる音が聞こえるかと存じます。一時的なものですので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

8/24 13時より須玉ふれあい館で見学いただけます。

※天候によりドローンの飛行タイミングが左右されます。お出かけの際には、このサイトで最新情報をご確認ください。

北杜市は A.L.I.と6月に北杜市における小型無人機の離発着や保守運用を行う為の拠点となる空のインフラ構築を目指した連携協定を締結いたしました。

今回の実証では北杜市に空のインフラとなる”空の駅”を整備し、空の駅間を結ぶ飛行航路（空の道）を整備します。実証終了後は空の駅ネットワーク網のさらなる拡大を行い、北杜市が主体となってドローンを使った災害対応の強化やドローンシェアリングの体制を構築していく予定です。同時に、北杜市が整備した空のインフラを民間事業者に広く開放することで、ドローンによる物流の定期運航の実施を行うなど、ドローン前提社会、住みよい街づくりを推進してまいります。